

ハワイイの土俗に就きて

文學博士 藤岡勝 二一

唯今紹介を戴きました藤岡でございます。今回亞米利加合衆國政府が發起いたしました太平洋教育會議に日本政府から遣されて參つたもの一人でございます。八月の九日にホノル、に着いてその二十九日に向うを立つたので、ホノル、滞在期間が三週間ぎりぐり位のことでありましたから、この會から御求めになりましたやうなハワイイの土俗といふことに就ては實は未だ皆様の前で御話する程能く私には分つて居らぬのでございます。無論自分に分りたい爲に色々の材料をも調べ、又暇を造つては其地の博物館圖書館も滯入つて見ましたけれども、凡て會議の頻繁にある間の餘事でありましたから、甚だまごまらないのであります。なほ元々土俗學の方面は私共の専門とする所でありませぬから、着眼した所が見當違ひになり得ることは當然であります。隨て最初に御斷りをして御許しを願ひたいと思ふのであります。即ち何でも行つて來たのであるからそれに就ての話をしろといふことでありますので、あゝいふ題にはなつて居りますけれども、今のやうな次第で自分に資格の無いことは御話することが出来ま

せぬから、ハワイ島土俗といふことは御取消を願ひたいのであります。即ちさういふ題目でないハワイに就て私が氣付いたこと及び殊に日本の立場から感じましたことに加へて私の専門としますハワイの言語に就て多少面白いと思ひましたことを附け加へて申し上げます。勝手ながら是だけの御許しを願つて置きました私の話を進めて参ります。

日本の人が「ハワイ」といつて居りますけれども、抑々學校などで地理を教へる場合等精密な話をする場合にも精しくない稱へ方になつて居ることを第一に私は感じました。それは「ハワイ」といふのは、あの群島の中の一つの最も大きな島の名なのであつて、あの群島は「ハワイ」とは申しませぬ、(便宜上いふ人もある様ですが、それは通俗の稱呼でありまして、サンドウイツチ諸島といふ方がたしかでありませぬ)又多くの日本人が目指して行く島も「ハワイ島」ではありませぬ。そうすれば日本人が「ハワイ」へ行くと、ハワイへ渡るといふことは、甚だ通俗な云ひ方なのであります。精しくは當りませぬ。是は第一地理として説く場合に明かにして置く必要があると存じます。但し俗稱といふものは凡て至つて強い勢力のあるものでありますから、ハワイはまた全群島にも稱してゐると心得てゐることも必要であります。既にかやうなことに御注意になつて居る方には分り切つて居ることではありますが、あの群島の中には幾つもの島がありまして、其中一番南の方に「ハワイ島」といふ一番大きな島があるのであります。それから其北の方に幾つもの細かい島がありまして、丁度南北は北緯十九度から二十二度二十二度半位の所まで東西は西經百五十五度から百六十度少し越したあたりまでに亘つて散らばらつて居るのであります。

可なり廣い所にばら／＼した島が寄つて居るのであります。其中吾々が参りましたホノル、といのは丁度その群島の中程にあるオアフ島といふ一の島にあるのであります。全群島は(圖を示す)丁度斯ういふ風な位ざりになつて居ります。此處に一番大きい島があり、ホノル、はこちらにあります。此ホノル、といふ所が中心となつて居りまして、前から政治の中心とせられて居ります。諸島に亘つてすと山脈の工合が切れ／＼ながら續いて居るやうに見えますから、地理學の方から見ましたならば餘程面白いこと、思ふのであります。それは私の専門でありませぬから申しませぬ。日本人は是だけの島々のおもなどころに参つて散布して居るのであります。

人口のことは第一に注意して見ました。丁度私が参りました時に最近の人口調査が終りました所なので最も新しい所を聽かせて貰つたのであります。人種は種々あります先づ書いた方が早うございませう

米英獨露人	37.409
支那人	22.378
フィリピン人	21.907
群馬土人	23.971
日本人	114.879
朝鮮人	5.327
群嶋土人と亞細亞との混血	6.499
群島土人と支那人との混血	11.348
葡萄牙人	25.257
ポルトリコ人	5.491
スペイン人	848
其他	570
	<hr/>
	275.884

これを見ますと日本人の数が大きに目立ちます。日本人朝鮮人と分けて居るのは政治上から見るのでなくからであります。ポルト、リコといふ遠方の地からこんなに来て居るのも目立ちます。其他といふのはつまりいろ／＼ないのであります。ともかく此通り日本人が逆も他とは比較にならぬほど多いので、此計算を見た時に成程日本人についてやかましくいふ筈だと思ひました。歐米人を寄せた所が三萬餘であるのに日本はその總て四倍になつて居ります。土地からいへばホノル、が一番人口の多い所でありまして、この人口は、諸人種寄せて八萬六千九百二十九人、此の中にも可なり日本人が居ります。

日本人は色々の職業に就いてゐますが、殊に糖業者の御手傳をして甘蔗を刈る仕事に従事して居るのがぬきん出て多いのであります。是か何時でも二萬五千を越えて居ります。それから先づ多いのが家に傭はれてゐる使用人、百姓、工匠等廣い意味の日傭稼業、其次が藝者と稱してゐるもの及びそれに附随するものであります。これが約二千五百といふから、随分多數であります。それから商業者で次で漁業といふ順序になつて、其他は千人以下のものであります。斯ういふ風な職業に日本人が従事して居るのでありますから、あの多數の人も實は糖業に従事して居るのと農夫になつて居るのが多いといふことになります。ハワイイで何時も問題となりますのは、この日本人の数が殖えるからであります。年々の計算によると、丁度千九百十九年だけ較々減つて居りますけれども、其他千九百十四年から今日に至るまで、殖へて来て且つ比較的死亡率が日本人には少い。死亡率が少くて殖へて増加するか

ら、此勢ひで行くと、亞米利加の人が言つて居ります所に依りますと、今に千九百四十年になると日本が大多数選舉權を得ることになる。デモクラシーの國として選舉權を有する者が多く他國人であるとなるのは可なり危なく感せねばならぬ。千九百四十年までには是は何か解決しなければならぬといふのでやかましいのであります。斯ういふ譯で此處に居ります日本人は大きにざ目ゝれていろゝの問題に上るのであります。日本人に次で多いのは葡萄牙人でありませんが問題になつて恐れられては居ませぬ。

(未完)



大正癸亥年頭之感

尊農居士 酒井爲太郎

人馳都市侮農村 世惑浮華道義昏

皇國將來誰與語 居蘇三酌滌塵煩

ハツイイの土俗に就きて (藤岡)

一三八

曉 山 雲

廣 瀬 鎌 之 助

八雲立出雲の山のあけかたに

かみよなからのくも立ちのほる

御饗まつる御垣のかけも時告けて

みやまにかゝるあかつきの雲

月かけはうすれてあくる御崎山

あか白なせる雲のかけはし

猪の年を迎へて

横道はたさらず直に進み行く

ぬに習はなむうさき我が身も